

令和5年10月2日

富里市長 五十嵐 博文 様

富里市産業振興推進会議

会長 寒 郡 茂 樹

富里市産業振興アクションプランの令和4年度実績について

令和4年3月に策定された「富里市産業振興アクションプラン」の令和4年度実績報告を受け、富里市産業振興推進会議として、次のとおり意見を申し上げます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返される中、ウクライナ情勢を契機とした原材料やエネルギー等の価格高騰に、円安の進行がさらなる拍車をかけ、市内経済や市民生活に大きな影響が及ぼされました。

「富里市産業振興アクションプラン」に掲げる施策に対する取組については、前述のような状況下でありながらもアフターコロナを見据え、富里市の基幹産業である農業経営の安定化を目的とした「富里市すいか条例」をはじめとしたすいかの生産支援、「商店会魅力発信補助金」による地域経済の活性化や、「末廣農場」のオープンに至ったことなどは、高く評価できるものです。厳しい指摘等もありましたが、今後の更なる飛躍を期待するものとして捉えていただくと幸甚です。全体に関する統括としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、目的達成のための事業が概ね実施されており、一定の成果が上がっていると認められます。

令和4年度からスタートした「第二次富里市産業振興ビジョン」より新たな視点として「成田空港との共生・共栄」が盛り込まれました。空港発展の波及効果を確実なものにするため、市街化区域の用途地域の見直しによる土地利用の高度化や地区計画ガイドラインに即した市街化調整区域での土地利用の誘導等、企業立地ガイドラインに沿った企業誘致を推進し、民間の活力を取り込みながら、地域経済の活性化を図るよう、積極的な展開が必要であると考えます。

そのような点を踏まえて、「富里市産業振興アクションプラン」に掲げられた施策が市勢の発展に寄与するよう進めていただきたい。